

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第1回西脇市男女共同参画審議会
開催日時	2025（令和7）年8月19日（火） 午後2時～4時
開催場所	西脇市茜が丘複合施設Miraie 会議室1
出席委員の名前又は人数	10名
欠席委員の名前又は人数	2名
出席職員の職・名前又は人数	6名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	2名
議題又は協議事項	<p>(1) 西脇市男女共同参画センター事業について ア 2024（令和6）年度事業実施状況 イ 2025（令和7）年度事業（予定）</p> <p>(2) 第3次西脇市男女共同参画基本プランの進捗状況について ア 令和6年度男女共同参画基本プラン進捗状況評価 イ プラン推進のための数値目標</p> <p>(3) 2024（令和6）年度DV相談等の状況について</p> <p>(4) 西脇市男女共同参画基本プラン等の策定について</p>

会議の記録（概要）	
発言者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 委員委嘱・委員紹介 ○ 会長挨拶 ○ 会議成立の報告 委員10名の出席により会議成立の報告 ○ 傍聴者について 傍聴者2名の報告
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議事(1) 西脇市男女共同参画センター事業について「ア 2024（令和6）年度事業実施状況」について資料1に基づき、「イ 2025（令和7）年度事業（予定）」について資料2に基づき、事務局（男女共同参画センター）から説明
会長	事務局から説明いただいたが、意見はないか。
委員	女性が社会に出ると、帰宅後に食事の準備や掃除、洗濯、育児が加わり、負担が集中している。結果として女性のみがしんどい状況に置かれている。男性が家事を担う仕組みも必要である。本日の朝日新聞に、4か月健診で男性が離乳食を作る取組が紹介されていた。男性が活躍できる場を設ける必要がある。
事務局	<p>男性向けの料理教室等を企画してきたが、参加は少ない。夫妻や子ども連れでの参加はあるが、男性単独での参加は難しい。女性は声をかければ参加が得られるが、男性は参加しにくい状況にある。今後は男性が参加しやすいよう工夫して企画を進めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 議事(2) 第3次西脇市男女共同参画基本プランの進捗状況について資料3に基づき、事務局（男女共同参画センター）から説明

会 長	議事(2)について意見を求める。
委 員	資料3-1の55番(14ページ)「防災分野における女性の積極的な参画推進」が未実施となっている。災害発生時、母親は子どもを守る意識が強く、子どもの預け先が確立していないと防災活動に参加できない。子ども会の会長として子ども向け防災訓練を実施したが、教材について、防災安全課に問い合わせたところ、子ども向けのものはないとのことであった。障害者や高齢者向けのものはあるが、子ども向けはなく、母親としては参加が難しいと感じる。
事 務 局	本日は防災担当職員が不在であるため、いただいた意見を必ず伝える。子ども向け教材や母親が学べる教材の提供を依頼する。
委 員	小野市では女性消防団が活動している。地域防災イベントを月1回程度開催し、手当も支給されている。災害時には力仕事ではなく、支援物資の仕分けや指令を担当していると聞いている。
事 務 局	防災は男性が担うという意識が担当者にもあると思う。まずは自分たち職員の意識改革が必要である。
委 員	防災資料や映像教材は消防署に問い合わせれば提供される。こども園でもDVD等を用いて訓練が実施されている。
委 員	自主防災訓練はどの地区でも実施しているのか。私の地区では実施したことがない。
委 員	西脇区では地区全体で炊き出しや避難訓練を実施している。形式的な面もあるが継続している。
委 員	野村地区では2年に1回、防災訓練を実施している。避難想定規模は、世帯数約2,300世帯、7,000人規模で、事前に各班単位で一次避難所を設定している。医療

	<p>支援者の名簿や要支援者リストを作成し、安否確認名簿も整備している。今年は今町を対象とし、午前9時に地震発生を想定して避難訓練を行った。参加者は約200人であった。避難経路の危険箇所も確認した。訓練は避難中心であり、避難所での対応は自治会として整理できていない。今後の課題である。</p>
<p>委員</p>	<p>避難後の生活支援が課題である。こども園では非常食を年2回食べる日を設けているが、子どもが食べない場合がある。災害時に備えて実際に食べる体験が必要である。アウトドア体験と組み合わせれば、男性も参加しやすい。</p>
<p>会長</p>	<p>貴重な意見である。アウトドア形式であれば男性も参加する可能性がある。</p>
<p>事務局</p>	<p>○ 議事(3) 2024(令和6)年度DV相談等の状況について資料4に基づき、事務局(はぴいくサポートセンター)から説明</p>
<p>会長</p>	<p>件数について他市との連携が含まれているということか。</p>
<p>事務局</p>	<p>他市の配偶者暴力相談支援センターと情報を連携した場合、相談件数に含まれている。実人数は大きく増えていないが、件数は増加している。今後、件数のカウント方法を検討する。</p>
<p>会長</p>	<p>相談件数の扱いは検討が必要である。配偶者暴力相談支援センター設置により相談しやすくなった点は評価できる。</p>
<p>委員</p>	<p>男性からのDV相談はあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和6年度には交際相手からの暴力について男性からの相談が1件あった。</p>
<p>委員</p>	<p>はぴいくサポートセンターは子どもの相談という印象</p>

事務局	<p>が強く、男性が利用しにくい。DV相談窓口の名称も検討が必要である。</p>
事務局	<p>配偶者暴力相談支援センターは、男女問わず利用できる。名称については今後の課題である。</p>
委員	<p>仕事は増えていると思うが、配偶者暴力相談支援センターになってどのように変わったか。</p>
事務局	<p>配偶者暴力相談支援センター設置により、専用回線を設けたことで相談業務が増えた。DV相談からの証明や居住地移転時の支援措置、住民票閲覧制限等の手続きも可能になった。</p>
委員	<p>センターの周知については、SNS等インスタグラムが有効ではないか。若い世代は紙媒体よりもSNSで情報を得る。デートDV等もSNS経由なら気づき、相談につながる可能性がある。</p>
委員	<p>相談は電話のみか。電話はハードルが高く、チャットやフォームの方が利用しやすい人もいないか。</p>
事務局	<p>現状、DV相談は基本的に電話で対応している。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、チラシ以外の方法で周知を検討する必要がある。高校生向けのデートDV啓発と合わせ、相談窓口の存在を広く知ってもらうことが重要である。</p>
事務局	<p>みらいえでもインスタグラムを始めた。情報発信の一つとして活用していきたい。</p>
事務局	<p>みらいえでは、トイレの個室に相談先等が記載されたカードを置いている。</p>
委員	<p>Googleフォーム等を活用すれば、電話希望やメール希望等選択できる。電話が苦手な人も利用しやすくなる。</p>
会長	<p>SNSはジェネレーションギャップが大きい。若い世代の知見を取り入れ、より効果的な発信方法を検討していただきたい。</p>

事務局	○ 議事(4) 西脇市男女共同参画基本プラン等の策定について資料5に基づき、事務局（男女共同参画センター）から説明
会長	市民意識調査として、アンケート調査を実施するに当たり、調査項目は審議会で確認する必要がある。 多忙な委員も多いため、書面で意見をいただき、必要に応じて個別に相談を行う方向で進めたい。
事務局	準備ができ次第、資料を郵送し意見をいただく。御協力をお願いします。
会長	○ その他 ここまでで議事は終了とする。ここからは議事に関する事等、御意見や最近気になる点があれば発言をお願いします。
委員	以前から気になっていたが、学校へのデートDV出張授業の実施校は学校側からの申し込みなのか。
事務局	学校に案内している。小学校ではアンガーマネジメント、中学、高校ではデートDVを案内している。授業時間の確保が難しく受けてもらいにくかったが、令和6年度は4校で実施できた。 また、西脇高校生活情報科では二次元コードを活用し内閣府の資料を見てもらい、男女共同参画センター作成のアンケートに回答してもらった。授業時間を割かずに取り組める方法の一つと考える。
委員	同じ学校ばかりが申し込んでいるように見える。出身校の名前がなく寂しい。生徒数も多く、男子も多いので短時間でも現状に触れる機会は大事である。全校に広がることを期待する。また、デートDV防止の啓発と相談窓口の担当が別なのはわかりにくい。窓口は一本化できないか。

委 員	講師に安心感を抱き相談したくても、相談窓口と講師が違えば距離が生まれる。同じ組織の人が窓口であればよい。
会 長	講師と窓口を兼ねるのは難しい。講師は専門性が必要である。啓発はみらいえ、相談窓口ははぴいくと分けてあるが、事務局はどう考えているのか。
事 務 局	組織的な問題でありこの場で即答はできない。
委 員	男女共同参画センター開設時、相談室があるみらいえで、DV相談を行うものと思っていた。
事 務 局	男女共同参画センターでの相談は「女性のなんでも相談」「起業相談」「就労相談」を行っている。DV相談は別組織が担っている。
委 員	男女共同参画センターができる以前のアンケートで、「電話がたらい回しになり、二度と相談したくない」との声があった。当時の市長に直訴して児童相談でDV相談を受けるようになった経緯がある。その後、男女共同参画センターができるので、そこでDV相談の窓口ができるものと思っていた。
事 務 局	DV相談窓口を男女共同参画センターに置くかどうかの当時の経緯については不明である。
委 員	人権擁護委員として「女性のなんでも相談」を担当している。相談は間口を広く取り、DVや高齢者等の相談があれば必要に応じて担当課や弁護士相談につなげている。入り口として気軽に利用いただければよい。
会 長	相談は一体感が大事、市民から見て窓口が明確であることが重要である。
委 員	民生委員として相談等については、行政へ案内している。また、防災面では避難時の要援護者の対応が重要で

	<p>あると考える。特に水害と地震で避難の実態は異なる。避難所のトイレも老朽化しており心配である。</p>
<p>会 長</p>	<p>避難の実効性は非常に重要である。担当課への確認をお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>P T A会長の傍ら、西脇小学校で「おやじの会」を運営している。全国の「おやじの会」会員の中には、活動の会員同士で日頃からD Vや子どもの困りごと等の相談を行っているという例も聞く。窓口の一つとしても大事だと感じている。</p>
<p>会 長</p>	<p>サークルや地域活動を通じて、相談ができる場所があるというのは、大変重要だと考える。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>学校現場では、性別に関する固定的意識において変化がみられる。上履きやランドセルの色、健診の受け方も男女分けをやめる例がある。これまでは、男性教員が担うことが多かった体育や生徒指導を女性教員が担当する例も増えており、意識変化を感じる。</p> <p>デートD Vやアンガーマネジメントの研修は教育の一つとして重要だが、方法は講座に限らない。教材やD V Dを活用する方法もある。</p> <p>性的虐待に関する研修を行った。児童が性的被害を受けていることに自覚できず相談できない課題が明らかになった。</p> <p>小学校低学年からプライベートゾーン教育を行い、中学校ではデートD Vへとつなげる指導を進めていると聞いている。</p>
<p>会 長</p>	<p>素晴らしい取組である。このような取組をしていない学校もあることを忘れず、全体として進めていただきたい。女性の管理職登用も含めスピードを上げることが重要である。</p>
<p>委 員</p>	<p>健康診断も男女一緒に行っているのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>性の多様性に配慮し、男女に分けて一斉に受診するの</p>

<p>委員</p>	<p>ではなく、一人ずつ順番に保健室に呼び込み受診する取組を行っている。</p> <p>理解した。男女一斉に受診するのかと驚いたが素晴らしい取組である。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の審議会で発言したと重複するが、放課後児童クラブ（以下「学童」）では支援員の知識不足から子どもへの対応に困難が生じている。学童を嫌がる子どもおり、女性の就労を妨げる要因になっている。専門的な知識を学ぶ研修を取り入れてほしい。また、重春小学校の屋外トイレは暗く危険で改善を希望する。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回いただいた質問について、担当課に確認した。支援員研修については、市主催で年2回、県主催でも実施している。教室の狭さについては、規定は満たしているものの、利用者の増加、遊びのスペースと学習のスペースの併用等の要因から狭く感じることもあると理解している。学童施設の外にあるトイレについては、セキュリティ面の問題解決に向けて学校と交渉を続けていくとの回答を預かっている。</p>
<p>会長</p>	<p>市民の声を届けることで改善につながる。今後も声を寄せてほしい。</p> <p>委員の皆様には貴重な意見をいただき感謝する。</p> <p>事務局には、本日の意見を今後の男女共同参画の事業に反映していただくよう、よろしく願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>貴重な意見をいただき、お礼申し上げます。</p> <p>今後の男女共同参画推進事業に反映していく。</p> <p>○ その他 議事録はホームページ等で公開予定である。 次回、審議会については、開催日が決まり次第事務局から委員の皆様にご連絡をする。</p> <p>○ 閉会</p>

問合せ先	西脇市都市経営部茜が丘複合施設 男女共同参画センター TEL 0795-25-2800 / FAX 0795-25-2220
------	--